



関西学院大学

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

教務機構 言語教育研究センター

Language Programs 2021

インテンシブ・プログラムと言語学習のすすめ



Kwansei Gakuin
Language Center

英語
フランス語
ドイツ語
中国語
朝鮮語
スペイン語
ロシア語
イタリア語
ポルトガル語
アラビア語
インドネシア語
日本手話



Language Program

インテンシブ・プログラムと言語学習のすすめ

教務機構
言語教育研究センター

6つの 特徴



2

コミュニケーション能力
養成のための
フランス語／ドイツ語
インテンシブ・プログラム



5

フランス／ドイツの
大学で学ぶ
1ヶ月の海外研修
プログラム



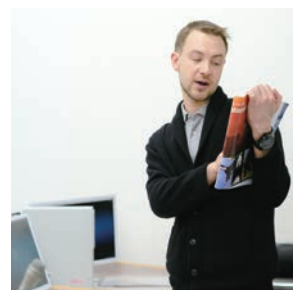
1

ネイティブ教員のみで
行う多彩な
英語インテンシブ・
プログラム



4

イタリア語、
アラビア語、
日本手話などの
多彩な選択言語



3

疑似留学体験ができる
「英語コミュニケーション
文化」副専攻（MS）
プログラム



開講プログラム概要

		対象学部	コース／科目
英語インテンシブ	学部必修／選択必修に代わる科目	神・社会・法・経済・商・理工・理・工・生命環境	入門英語コース
		神・文・社会・法・経済・商・人間福祉	インテンシブ・イ
	選択科目	全学部	スキルアップ・コ ンテンツ・コー
フランス語インテンシブ	学部必修／選択必修に代わる科目	文 ^{※1} ・社会・法・経済・商・国際 ^{※2}	初級Ⅰ／Ⅱ
	選択科目	全学部	初級Ⅲ／中級
ドイツ語インテンシブ	学部必修／選択必修に代わる科目	神・文 ^{※3} ・社会・法・経済・商・国際 ^{※2}	初級Ⅰ／Ⅱ
	選択科目	全学部	初級Ⅲ／中級
選択言語	選択科目	全学部	p.23 を参照

※1 文学言語学科フランス文学フランス語学専修の学生は、自由履修科目として履修します。

※2 初級Ⅱは選択科目として履修します。

※3 文学言語学科ドイツ文学ドイツ語学専修の学生は、自由履修科目として履修します。



6

外国語学習を
サポートする
充実した視聴覚室

イングリッシュ・コース
コース
ス

CONTENTS

教員紹介	3
------	---

英語インテンシブ・プログラム

プログラムの特徴／出席・遅刻の制度	5
カリキュラム	6
入門英語コース	8
インテンシブ・イングリッシュ・コース	9
スキルアップ・コース&コンテンツ・コース履修手続	11
スキルアップ・コース	12
コンテンツ・コース	14
「英語コミュニケーション文化」副専攻（MS）プログラム	16

フランス語／ドイツ語インテンシブ・プログラム

プログラムの特徴／カリキュラム／出席・遅刻の制度	17
履修手続	18
フランス語インテンシブ・プログラム	19
ドイツ語インテンシブ・プログラム	20
フランス語／ドイツ語海外研修	21

選択言語科目

選択言語科目履修手続	23
選択言語科目	25
言語教育研究センター視聴覚室／E-learning 教材	26
学内実施の英語運用能力試験	27
ポートフォリオ	28
ダブルチャレンジ	29

※「教学 Web サービス」および「情報システム Web サービス」は 2021 年夏に新しいポータルサイトに移行します。
アクセス方法など詳細は 2021 年夏までに教学 Web サービス等でお知らせします。

Teacher's Introduction

教員紹介



中国語

エン ユ
閻 瑜



中国語

オウ キ
王 棋



中国語

カク ヨウ
郭 楊



中国語

チョウ ソケン
張 素娟



英語

ミナミ サヨリ
南 佐依



英語

アンドリュー ナウラン
Andrew Nowlan



英語

アンドリュー フィルポット
Andrew Philpott



英語

バリイ コンドン
Barry Condon



英語

ジョン サキヤ
John Syquia



英語

ジョナサン ワトキンス
Jonathan Watkins



英語

リディア エバリー
Lydia Eberly



英語

マーク ドネラン
Mark Donnellan



英語

オリバー ローズ
Oliver Rose



英語

ライアン デイヴィス
Rian Davis



英語

ロバート ヒギンズ
Robert Higgins



英語

サイモン ロウ
Simon Rowe



英語インテンシブ・プログラム



「聞く・話す・読む・書く」

の総合的な英語力アップによって、英語を用いたコミュニケーション力を養い、世界で活躍できる国際人を育成します。



プログラムの特徴

POINT 1

オールイングリッシュの少人数授業

英語を母語とする教員が、プログラム全ての授業を担当します。定員が 12 ～ 25 名の少人数クラスで、グループワークやプレゼンテーションなどの様々なアクティビティを行いながら、英語力を身に付けます。

POINT 2

レベル別の集中授業

自分自身のレベルに合ったクラスで集中的に学ぶことで、英語力の向上を目指します。インテンシブ・イングリッシュ・コースでは、通常は 2 年かけて修得する学部必修（選択必修）の英語科目を 1 年半で修得することができます。

POINT 3

目的別の英語スキルアップ&コンテンツ・ラーニング

幅広いラインナップの科目から、自分の学習目的に合った科目を選択できます。“英語を” 学ぶスキルアップ・コースと“英語で” 学ぶコンテンツ・コースの相乗効果で、さらなる英語力アップを図ります。

重要

出席・遅刻の制度

- ・授業開始に遅れると「遅刻」となり、30 分以上授業に出席しない場合は「欠席」として取り扱う。
- ・遅刻 2 回を欠席 1 回とみなす。
- ・欠席は理由の如何に関わらず「欠席」として取り扱う。
- ・「不合格」となる欠席及び遅刻の回数は右表の通りとする。
- ・不合格となった場合、その後の授業に出席することはできない。
- ・遅刻 1 回につき 1 点、欠席 1 回につき 2 点を、最終成績から減点する。
- ・入門英語コースはこの通りではない。別途履修時に説明する。

	欠席※
週 1 回科目	3
週 2 回科目	4
週 3 回科目	6

※遅刻 2 回を欠席 1 回とみなす。

英語インテンシブ・プログラム カリキュラム

() 内は単位数

	コース名	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
		春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
必修科目	学部必修（選択必修） 英語レギュラー・コース	詳細は p.7 の「学部開講英語科目履修体系」参照							
	入門英語コース 学部混合クラスで基礎的な英語運用能力を養成 対象：神・社会・法・経済・商・理工・理・工・生命環境学部生 詳細は p.8	入門英語Ⅰ A（1） 入門英語Ⅰ B（1）	入門英語Ⅰ A（1） 入門英語Ⅰ B（1）	入門英語Ⅱ A（1） 入門英語Ⅱ B（1）	入門英語Ⅱ A（1） 入門英語Ⅱ B（1）				
	インテンシブ・イングリッシュ・コース 学部混合・習熟度別クラスで総合的な英語運用能力を養成 対象：神・文・社会・法・経済・商・人間福祉学部生 詳細は p.9	春学期 開始	スプリング・インテンシブ・イングリッシュ（2）	インテンシブ・イングリッシュ（3）	インテンシブ・イングリッシュ（3）				
		秋学期 開始	学部英語科目（2） または 入門英語Ⅰ A（1） 入門英語Ⅰ B（1）	インテンシブ・イングリッシュ（3）	インテンシブ・イングリッシュ（3）				
選択科目	スキルアップ・コース 学習目的別・レベル別クラスで特定の英語スキルの向上を目指す 詳細は p.12	Skills-based English (Basic/ Speaking & Listening/ Writing/ Reading/ Academic/ Business A・B/ TOEFL/ TOEIC/ IELTS)（1）または（2） 自分に合ったレベルのクラスで必要とするスキルを伸ばす							
		Special English Seminar（1） 夏休みに開講する 5 日間の集中授業							
	対象・全学部生	コンテンツ・コース 様々なテーマについて“英語で”学び、実践力を高める 詳細は p.14	Project-based Seminar in English (Study Abroad/ Career English/ Critical Writing/ Area Studies)（2） クラスの仲間と取り組む課題を通して、実践的な英語力と知識を身に付ける						
「英語コミュニケーション文化」副専攻（MS）プログラムコア科目 Language and Communication/ Culture and Society/ Academic Writing and Presentation（2） 海外の大学さながらの環境でネイティブ教員から専門知識を学ぶ									

〈参考〉 **学部開講英語科目履修体系** 2021 年度入学生のカリキュラムです。

() 内は単位数

	1 年次		2 年次	
	春	秋	春	秋
神	(リーディング) 甲 (1) (リーディング) 乙 (1)	(ライティング) 甲 (1) (ライティング) 乙 (1)	(コミュニケーション) 甲 (1) (コミュニケーション) 乙 (1)	(総合) 甲 (1) (総合) 乙 (1)
文	A I (1) B I (コミュニケーション) (1)	A II (1) B II (コミュニケーション) (1)	A III (1) B III (1)	A IV (1) B IV (1)
社会	English Communication A (1) English Communication B (1)	English Communication C (1) English Communication D (1)		
法	I A (LR) (1) I A (SW) (1)	I B (LR) (1) I B (SW) (1)	II A (LR) / II B (LR) (1) II A (SW) / II B (SW) (1)	II A (LR) / II B (LR) (1) II A (SW) / II B (SW) (1)
経済	I a (1) I b (1)	I c (1) I d (1)	II a (1) II b (1)	II c (1) II d (1)
商	I (リーディング) (1) I (コミュニケーション) (1)	II (リーディング) (1) II (コミュニケーション) (1)	III (リーディング) (1) III (コミュニケーション) (1)	IV (リーディング) (1) IV (コミュニケーション) (1)
理/工/生命環境/ 建築	リーディング I A (1) ライティング I A (1) コミュニケーション I A (1)	リーディング I B (1) ライティング I B (1) コミュニケーション I B (1)	リーディング II A (1) ライティング II A (1) コミュニケーション II A (1)	リーディング II B (1) ライティング II B (1) コミュニケーション II B (1)
総合政策	English Communication I (4) English Communication III (4)	English Communication II (4) English Communication IV (4)	English Communication III (4) English Communication V (4)	English Communication IV (4) English Communication VI (4)
人間福祉	講読 A (1) 表現 A (1)	講読 B (1) 表現 B (1)	講読 C (1) 表現 C (1)	講読 D (1) 表現 D (1)
教育	A I (1) B I (コミュニケーション) (1) English for Young Learners I (1)	A II (1) B II (コミュニケーション) (1) English for Young Learners II (1)	A III (1) B III (1)	A IV (1) B IV (1)
国際	国際学部事務室に確認してください。			

本学では、下表のとおり、学生 1 人ひとりの英語運用能力に対応した英語教育を提供しています。

	CEFR ※1	GTEC(LR) ※2	TOEIC® L&R TEST ※2	TOEFL ITP® TEST ※2
【全学開講】 スプリング・インテンシブ・イングリッシュ インテンシブ・イングリッシュ	C2	460～	—	—
	C1	400～	945～	590～
	B2	330～	785～	533～
【学部開講】 英語科目	B1	270～	550～	443～
【全学開講】 入門英語	A2	190～	225～	—
	A1	～189	120～	—

※1 ヨーロッパ言語共通参照枠 (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, Teaching, Assessment, 「セフアール」) は、ヨーロッパ評議会が 2001 年に公表した言語学習・教授・評価のための指標です。現在は、ヨーロッパを中心として世界で言語教育や検定試験のレベル分け、それぞれのレベルの学習内容を決める基準として用いられています。CEFR (2001) では言語学習のレベルは、主に A1, A2, B1, B2, C1, C2 の 6 つのレベルに分けられていて、初めて学習するものは A レベルで「基礎段階の言語使用者」、B は「自立した言語使用者」、C は「熟達した言語使用者」と説明されています。

※2 GTEC、TOEIC® L&R TEST、TOEFL ITP® TEST の換算の点数は、あくまでも目安です。

<出典> GTEC: ベネッセコーポレーション TOEIC® L&R TEST: IIBC TOEFL ITP® TEST: ETS

入門英語コース

科目名	入門英語Ⅰ A／Ⅰ B／Ⅱ A／Ⅱ B 学部必修(選択必修)に代わる科目			
	1 年次春学期より基礎的な英語運用能力を養成します。ネイティブ教員と日本人教員による相互の連携により、効果的に「聞く・話す・読む・書く」の4技能を伸ばします。 1 年次春学期・秋学期に「入門英語Ⅰ A／Ⅰ B」(いずれも各学期とも週 1 回・1 単位)、2 年次春学期・秋学期に「入門英語Ⅱ A／Ⅱ B」(いずれも各学期とも週 1 回・1 単位)を履修します。			
対象	神・社会・法・経済・商・理工・理・工・生命環境学部生	単位数	合計 8 単位	定員 25 名

履修条件	入学前受検の英語クラス編成テスト (GTEC) の結果により、入学時に履修を指定。
------	---

履修上の注意	・「入門英語Ⅰ A」2 単位を修得することを「入門英語Ⅱ A」の、「入門英語Ⅰ B」2 単位を修得することを「入門英語Ⅱ B」の先修条件とする。 ・学部レギュラー・コースへの変更を希望する場合、所属学部で定める手続きに従うこと。 ・社会学部の学生は、原則 1 年次春・秋学期に「入門英語Ⅰ A／Ⅰ B」(合計 4 単位)を修得することでコース履修が終了する。
--------	---

科目名	学期	クラス	担当者	曜・時	開講キャンパス
入門英語Ⅰ A	春	1	Daniel Andrzejewski	水 5	NUC
		2	Craig Gamble	水 4	NUC
		3	Tim Dowling	木 4	NUC
		4	Mary Chang	月 2	NUC
		5	Michael Delve	月 2	NUC
		6	Robert Higgins	火 3	NUC
		7	Andrew Philpott	水 5	NUC
		8	未定	水 5	NUC
		9	Michael Parrish	金 2	NUC
		10	Michael Delve	木 5	KSC
	秋	11	Oana Cusen	水 5	NUC
		12	Jonathan Watkins	水 4	NUC
		13	Daniel Andrzejewski	木 4	NUC
		14	Michael Parrish	月 2	NUC
		15	Robert Higgins	月 2	NUC
		16	未定	火 3	NUC
		17	Michael Delve	水 5	NUC
		18	Craig Gamble	水 5	NUC
		19	Ellen Rettig-Miki	金 2	NUC
		20	Stuart Cunningham	火 3	KSC
入門英語Ⅰ B	春	1	南 佐依	月 2	NUC
		2	菊池 渚	月 4	NUC
		3	菊池 渚	火 4	NUC
		4	菊池 渚	水 2	NUC
		5	南 佐依	木 2	NUC
		6	南 佐依	木 3	NUC
		7	南 佐依	金 3	NUC
		8	南 佐依	金 4	NUC
		9	菊池 渚	火 3	NUC
		10	南 佐依	水 5	KSC
	秋	11	南 佐依	月 2	NUC
		12	菊池 渚	月 4	NUC
		13	菊池 渚	火 4	NUC
		14	菊池 渚	水 2	NUC
		15	南 佐依	木 2	NUC
		16	南 佐依	木 3	NUC
		17	南 佐依	金 3	NUC
		18	南 佐依	金 4	NUC
		19	菊池 渚	火 3	NUC
		20	南 佐依	水 5	KSC
入門英語Ⅱ A	春	1	Jonathan Watkins	金 5	NUC
		2	Lydia Eberly	月 4	NUC
		3	Ellen Rettig-Miki	火 3	NUC
		4	Barry Condon	火 5	NUC
		5	Rian Davis	火 3	NUC
		6	John Syquia	水 4	NUC
		7	Oliver Rose	金 4	NUC
		8	Mark Donnellan	金 3	NUC
		9	Lydia Eberly	水 2	NUC
		10	Stuart Cunningham	水 2	KSC
	秋	11	Andrew Philpott	金 5	NUC
		12	Oliver Rose	月 4	NUC
		13	Mary Chang	火 3	NUC
		14	Barry Condon	火 5	NUC
		15	Simon Rowe	火 3	NUC
		16	Mark Donnellan	水 4	NUC
		17	John Syquia	金 4	NUC
		18	Brian Wojtowicz	金 3	NUC
		19	Lydia Eberly	水 2	NUC
		20	Stuart Cunningham	火 1	KSC
入門英語Ⅱ B	春	1	菊池 渚	月 3	NUC
		2	南 佐依	金 2	NUC
		3	菊池 渚	木 5	NUC
		4	菊池 渚	木 1	NUC
		5	菊池 渚	木 3	NUC
		6	南 佐依	月 3	NUC
		7	南 佐依	水 2	NUC
		8	菊池 渚	水 1	NUC
		9	南 佐依	月 1	NUC
		10	菊池 渚	水 5	KSC
	秋	11	菊池 渚	月 3	NUC
		12	南 佐依	金 2	NUC
		13	菊池 渚	木 5	NUC
		14	菊池 渚	木 1	NUC
		15	菊池 渚	木 3	NUC
		16	南 佐依	月 3	NUC
		17	南 佐依	水 2	NUC
		18	菊池 渚	水 1	NUC
		19	南 佐依	月 1	NUC
		20	菊池 渚	水 5	KSC

NUC: 西宮上ヶ原キャンパス KSC: 神戸三田キャンパス ※開講クラス、担当者、曜日・時間は2021年2月現在のものです。最新の情報は、必ず教学Webまたは掲示で確認してください。

インテンシブ・イングリッシュ・コース

1 年次秋学期開始申込・選考スケジュール

説明会

インテンシブ・イングリッシュ・コースの概要や申込方法について説明します。また、担当教員や授業内容についても紹介します。

日程

5月17日(月) 12:45～13:15
6月2日(水) 12:45～13:15
6月11日(金) 12:45～13:15

※説明会に参加できなくても、コースへの申し込みは可能です。

※場所は教学 Web または掲示で確認してください。

Web 申込

言語教育研究センター HP 上の申込フォームに必要事項を入力し、送信してください。

申込フォーム: https://www.kwansei.ac.jp/c_language/

申込期間: 6月7日(月)～18日(金) 16:00

※スプリング・インテンシブ・イングリッシュ履修者は Web 申込は不要です。STEP2 のみ行ってください。

※1 年次秋学期開始の場合、インテンシブ・イングリッシュ・コースとフランス語またはドイツ語インテンシブ・コースの併願は可能。
ただし、両方のコースに合格した場合、どちらか一方を選択する。



STEP 1

選考

A、B、C のうちいずれかのスコアで選考

A. 全学 TOEIC® (大学が実施する TOEIC® L&R IP テスト) ※総合政策学部を除く 1 年生受験必須

試験日: 5月29日(土)

詳細は p.27. 受験申込、受験後の点数表提出不要。

B. 大学が実施する TOEFL ITP® TEST

試験日: 4月17日(土) 申込期間: 3月1日(月)～4月9日(金)

試験日: 6月5日(土) 申込期間: 4月12日(月)～5月28日(金) (無料・有料実施含む)

詳細は p.27. 受験後の点数表提出不要。

C. その他の TOEFL® TEST または TOEIC® L&R TEST

A. B. 以外で受験した TOEFL iBT® TEST、TOEFL ITP® TEST、TOEIC® L&R TEST (IP テスト含む) のスコアを有する場合は、
点数表原本とコピーを教務機構言語教育研究センターに提出。(原本は確認後、その場で返却。)

※ TOEFL iBT® TEST、TOEFL ITP® TEST は受験日から 2 年以内のスコアのみ有効。

提出期間: 6月7日(月)～18日(金) 16:50

選考結果発表

7月9日(金) 8:50 教学 Web にて発表

インテンシブ・イングリッシュ・コース 履修者の声



商学部 3 年
藤 誠紀さん

私がインテンシブ・イングリッシュを履修した理由は交換留学に備えて、総合的な英語力向上が必要だと考えたからです。私は入学当初から海外留学を志していたのですが、当時の英語力は低く、4 技能全ての能力向上が必要でした。インテンシブ・イングリッシュでは総合的に英語を学ぶことができ、特にスピーキングの機会が学部開講の英語の授業より頻度が多いと感じました。これにより自身の留学を見据えた英語学習ができると考え、本プログラムを受講しました。

私のクラスでは 1 年間の授業の内、前半はリーディングやライティング力向上を中心に進行し、後半はプレゼンテーションを通じたスピーキングスキル獲得を目指して進行了。前半では自然科学に関する教科書に基づいたリーディングやそこから得られた知見を基にライティング作成に励みました。ライティング作成時にはペア・グループワークのディスカッションの中で自身の意見を発表し、そこから得られたフィードバックを活かし、修正を加える必要がありました。従って学生同士や先生と交流する機会が豊富にあり、ライティングスキルのみならず、自身のリスニング・スピーキングスキルも向上したと実感しています。後半では少人数のグループで 90 分間のプレゼンテーションを作成し、オンライン上で発表するという内容のものでした。

加えて、私は交換留学に参加するために IELTS や TOEFL の勉強を並行して行っていました。インテンシブ・イングリッシュは、自身の学習した英語力のアウトプット、そして高いレベルの知識のインプットの機会として最適です。私は本授業の受講により IELTS や TOEFL のスコアを飛躍的に向上させることができ、非常に実りある一年になりました。

インテンシブ・イングリッシュの魅力は受講者一人一人の英語力に合わせて細かくクラス分けがされるため、着実に英語力向上ができる点です。私は留学に向けた学習を通して英語力向上に繋がれたため、履修して良かったと感じています。今後は本講義を通して得られた行動力や英語力をもとに、様々な国際プログラムに積極的に取り組み、英語力に磨きをかけていきたいと考えています。

英語に自信がある人もそうでない人も是非インテンシブ・イングリッシュを履修してみてください！

科目名	スプリング・インテンシブ・イングリッシュ／ インテンシブ・イングリッシュ				学部必修（選択必修）に代わる科目
	1 年次春学期または秋学期より集中的な英語の授業を履修します。自分のレベルに合ったクラスで、他学部の仲間と共に、「聞く・話す・読む・書く」の 4 技能のレベルアップを目指します。				
	【1 年次春学期開始】 1 年次春学期に「スプリング・インテンシブ・イングリッシュ」（週 2 回・2 単位）を、1 年次秋学期・2 年生春学期に「インテンシブ・イングリッシュ」（週 3 回・3 単位）を履修				
	【1 年次秋学期開始】 1 年次秋学期・2 年生春学期に「インテンシブ・イングリッシュ」（週 3 回・3 単位）を履修				
対象	神・文・社会・法・経済・商・人間福祉学部生	単位数	【1 年次春学期開始】合計 8 単位 【1 年次秋学期開始】合計 6 単位	定員	1 クラス 25 名
履修条件	【1 年次春学期開始】 入学前に申し込み、および英語クラス編成テスト（GTEC）による選考に合格。 【1 年次秋学期開始】 1 年次春学期に「入門英語 I A / I B」または所属学部必修（選択必修）言語教育科目（英語）2 単位を修得、および言語教育研究センターが実施する選考に合格。				
履修上の注意	・スプリング・インテンシブ・イングリッシュの単位を修得できなかった場合は、1 年次秋学期より所属学部のレギュラー・コースに戻り、未修得の単位を修得する。 ・人間福祉学部生で第二言語として「英語コミュニケーション」を選択している学生は、インテンシブ・イングリッシュ・コースに申し込むことはできない。 ・インテンシブ・イングリッシュ・コース履修者はフランス語／ドイツ語インテンシブ初級 I / 初級 II を履修できない。 ・社会学部生および所属学部必修（選択必修）の英語科目が単位認定された学生も、インテンシブ・イングリッシュ・コースを選択した場合は、合計 8 単位または 6 単位を修得する必要がある。 ・インテンシブ・イングリッシュ・コース履修者は、原則として途中でコースを放棄し、所属学部のレギュラー・コースに戻ることはできない。				

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
スプリング・インテンシブ・イングリッシュ	春	1	Oana Cusen	月 2・水 5
		2	Oliver Rose	月 2・水 5
		3	Craig Gamble	月 2・水 5
		4	John Syquia	月 2・水 5
		5	Mark Donnellan	月 2・水 5

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
インテンシブ・イングリッシュ	春	31	Tim Dowling	月 2・水 4・金 2
		32	Tim Dowling	月 1・水 5・金 1
		33	Rian Davis	月 2・水 4・金 3
		34	Rian Davis	火 2・水 2・金 4
		35	Robert Higgins	月 3・火 5・金 5
		36	Oana Cusen	月 3・水 4・金 2
		37	Lydia Eberly	月 1・水 5・金 1
		38	Lydia Eberly	月 2・水 4・金 2
		39	Oliver Rose	月 3・水 2・金 5
		40	Craig Gamble	月 3・火 5・金 5
		41	Andrew Philpott	月 2・水 4・金 3
		42	Andrew Philpott	月 3・水 2・金 5
		43	Brian Wojtowicz	月 2・水 4・金 2
		44	Brian Wojtowicz	月 1・水 5・金 1
		45	Mary Chang	月 3・水 4・金 2
		46	John Syquia	月 3・水 2・金 5
		47	未定	月 2・水 4・金 3
		48	未定	月 3・水 2・金 5
		49	Daniel Andrzejewski	月 2・水 4・金 3
		50	Simon Rowe	月 2・水 4・金 2
		51	Simon Rowe	月 3・水 2・金 5
		52	Michael Parrish	月 2・水 4・金 3
		53	Daniel Andrzejewski	月 3・水 2・金 5
		54	Michael Parrish	月 1・水 5・金 1
		55	Ellen Rettig-Miki	月 2・水 4・金 2
		56	Ellen Rettig-Miki	月 3・火 5・金 5
		57	Mark Donnellan	月 3・水 4・金 2
		58	Barry Condon	火 2・水 2・金 4
		59	Barry Condon	月 2・水 4・金 2
		60	Michael Delve	月 3・火 5・金 5

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
インテンシブ・イングリッシュ	秋	1	Tim Dowling	月 1・水 5・金 4
		2	Tim Dowling	月 2・水 4・木 4
		3	Rian Davis	月 4・水 5・金 4
		4	Rian Davis	月 2・水 4・金 3
		5	Oana Cusen	月 3・水 4・金 3
		6	Jonathan Watkins	月 2・水 5・金 4
		7	Lydia Eberly	月 2・水 4・木 4
		8	Lydia Eberly	月 1・水 5・金 4
		9	Robert Higgins	月 1・木 3・金 5
		10	Michael Parrish	月 3・水 4・金 3
		11	Andrew Philpott	月 4・水 5・金 4
		12	Andrew Philpott	月 2・水 4・金 3
		13	Brian Wojtowicz	月 1・水 5・金 4
		14	Brian Wojtowicz	月 2・水 4・木 4
		15	Mary Chang	月 2・水 5・金 4
		16	John Syquia	月 1・木 3・金 5
		17	未定	月 4・水 5・金 4
		18	未定	月 2・水 4・金 3
		19	Daniel Andrzejewski	月 4・水 5・金 4
		20	Barry Condon	月 1・水 5・金 4
		21	Barry Condon	月 2・水 4・金 3
		22	Ellen Rettig-Miki	月 4・水 5・金 4
		23	Daniel Andrzejewski	月 1・木 3・金 5
		24	Ellen Rettig-Miki	月 2・水 4・木 4
		25	Simon Rowe	月 1・水 5・金 4
		26	Simon Rowe	月 3・水 4・金 3
		27	Mark Donnellan	月 2・水 5・金 4
		28	Oliver Rose	月 2・水 4・金 3
		29	Oliver Rose	月 1・水 5・金 4
		30	Michael Delve	月 3・水 4・金 3

※開講クラス、担当者、曜日・時限は2021年2月現在のものです。最新の情報は、必ず教学Webまたは掲示で確認してください。

スキルアップ・コース&コンテンツ・コース

履修手続

スキルアップ・コース、コンテンツ・コースの科目（p.12～15）を履修するには以下の手続きが必要です。

STEP 1

各科目の履修に必要なレベル認定を申請する

※一部レベル認定不要の科目もあります。

レベル	TOEFL ITP® TEST / TOEFL iBT® TEST	TOEIC® L&R TEST (IP テスト含む)	IELTS (Academic Module)	実用英語技能検定
L1 (Level1)	450 点以上 / 45 点以上	500 点以上	4.5 以上	—
L2 (Level2)	475 点以上 / 53 点以上	550 点以上	—	2 級以上
L3 (Level3)	500 点以上 / 61 点以上	600 点以上	5.0 以上	—
L4 (Level4)	550 点以上 / 79 点以上	750 点以上	6.0 以上	準 1 級以上

※受験年から 2 年以内のスコア。但し、TOEIC® L&R TEST、実用英語技能検定は有効期限なし。

申請方法

申請フォームにアクセスし、関学システム ID・PASS にてログインのうえフォームにレベル認定申請

https://www.kwansei.ac.jp/c_language/c_language_010670.html

申請時には、上記いずれかの点数表原本の画像が必要



申請期限

春学期履修用締切：4 月 3 日（土）16：50

秋学期履修用締切：9 月 10 日（金）16：00

※随時申請を受け付けていますが、履修する学期によって提出期限が定められています。

提出不要の 点数表

以下の点数は自動的にレベル認定されるため、提出は不要です。

- ① 2019 年度以降に学内で実施される TOEIC® L&R IP テスト（オンライン含む）、TOEFL ITP® TEST（p.27 参照）
- ② 2016 年度以降に 1、3 年生を対象に 5、6 月に実施された全学 TOEIC®（オンライン含む）
- ③ 生協で実施された無料 TOEFL ITP® TEST
- ④ 2017 年 11 月以降に生協で実施された有料 TOEFL ITP® TEST
- ⑤ インテンシブ・イングリッシュ・コース申込時のスコア
- ⑥ 「英語コミュニケーション文化」副専攻プログラム出願時のスコア／級
- ⑦ 2017 年 1 月以降に国際教育・協力センター開講科目履修のために提出したスコア／級

注意

- ・一度認定されたレベルは卒業まで有効です。
- ・認定されたレベルが不明な場合は、学生証を持参の上、言語教育研究センターで確認してください。
- ・提出された点数表は、国際教育・協力センターと共有し、国際教育・協力センター開講科目の履修要件認定にも使用されます。
- ・国際学部英語話者（EblS）は点数表の提出は不要です。

STEP 2

教学 Web での履修科目の申込

下記期間に教学 Web で申し込みを行ってください。クラス定員を超える申込者があった場合は抽選を実施します。申込期間内であれば、教学 Web から取消・変更が可能です。なお、定員に満たないクラス等で追加申込を受け付ける場合があります。適宜教学 Web を確認してください。

※当選科目の履修中止はできません。シラバス等で授業内容を十分確認の上、申し込んでください。

	春学期開講	秋学期開講
Web 申込期間	4 月 1 日（木）8：50～3 日（土）16：50	9 月 9 日（木）9：00～10 日（金）16：00
Web 申込結果発表	4 月 7 日（水）8：50	9 月 15 日（水）8：50
追加申込期間	4 月 7 日（水）8：50～11：30	9 月 15 日（水）8：50～11：30
追加申込結果発表	4 月 7 日（水）17：00	9 月 16 日（木）8：50

スキルアップ・コース

科目名	Skills-based English 申込科目			
	学習目的・レベルに応じて、特定の英語スキルの向上を目指します。学部必修（選択必修）の英語科目にプラスして履修することで、効果的に英語力を磨きます。			
	Basic	初級者を対象に英語のコミュニケーション力を基礎から磨きます。		
	Speaking & Listening	日常生活、ニュースや大学での講義など、様々な場面で活きるリスニング力を身につけながら、会話力・発信力を養います。		
	Writing	英文ライティングを基礎から学び、日記、ノートテイキングからレポートまで、幅広いテーマにおけるライティング力の向上を図ります。		
	Reading	多様なリーディング教材に触れ、多読、速読、精読を通してリーディングスキルを身につけます。		
	Academic	論文や大学の講義などのアカデミックなテーマを中心に、専門性が高い分野に対応できる英語 4 技能を磨きます。		
	Business A・B	国際ビジネスの現場で求められる英語スキルを学びます。 A：プレゼンテーションや会議など口頭でのスキル B：メールや書類作成など文書に関するスキル		
	TOEFL	留学先で求められるアカデミックな英語に対応できる力を養います。 目標スコア レベルなし：450 点以上 L2：550 点以上		
	TOEIC	問題練習にとどまらず、グループワークなどを通して実践的な英語力を身につけます。 目標スコア レベルなし：550 点以上 L2：700 点以上		
	IELTS	留学先で求められるスコア獲得を目指します。		
対象	全学部生	単位数	2 単位（週 2 回）または 1 単位（週 1 回）	定員 25 名 （Writing のみ 20 名）
履修条件	科目名の最後に L ○と付いている科目は、当該レベルの認定を受けていること。付いていない科目はレベル認定不要。			
履修上の注意	この科目を学部必修（選択必修）の言語教育科目（英語）に振り替えることはできない。			

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時間	開講キャンパス
(Basic)	春	1	Tim Dowling	月 4	NUC
		2	Lydia Eberly	木 4	NUC
		3	未定	未定	NUC
		4	未定	未定	NUC
		5	Daniel Andrzejewski	月 1	NUC
		6	Daniel Andrzejewski	木 3	NUC
		7	Michael Delve	木 2	KSC
	秋	8	Tim Dowling	月 4	NUC
		9	未定	未定	NUC
		10	未定	未定	NUC
		11	Michael Parrish	水 5	NUC
		12	Michael Parrish	金 5	NUC
		13	Craig Gamble	木 1	NUC
		14	Michael Delve	木 2	KSC
(Speaking & Listening)	春	1	Rian Davis	水 3・金 2	NUC
	秋	2	Michael Delve	火 2・金 3	NUC
(Speaking & Listening) L1	春	3	Rian Davis	月 3・水 3	NUC
	秋	4	Michael Delve	月 4・金 5	NUC
(Speaking & Listening) L2	春	1	Oliver Rose	水 1・金 2	NUC
	秋	2	Lydia Eberly	月 4・木 5	NUC
(Speaking & Listening) L3	春	3	Craig Gamble	火 4・木 2	NUC
	秋	1	Oana Cusen	水 2・金 3	NUC
(Writing) L1	春	2	Mary Chang	水 3・金 2	NUC
	秋	3	Daniel Andrzejewski	水 4・金 3	NUC
(Writing) L3	春	1	Jonathan Watkins	水 1・木 2	NUC
	秋	2	Jonathan Watkins	月 3・金 3	NUC
(Reading) L1	春	3	Jonathan Watkins	月 1・金 1	NUC
	秋	4	Stuart Cunningham	火 2・木 2	KSC
(Reading) L3	春	1	Simon Rowe	金 1	NUC
	秋	2	Simon Rowe	月 2	NUC
(Writing) L1	春	1	Simon Rowe	月 1	NUC
	秋	2	Simon Rowe	火 4	NUC
(Writing) L3	春	1	Simon Rowe	火 4	NUC
	秋	2	Craig Gamble	木 3	NUC
(Reading) L1	春	1	Simon Rowe	水 1	NUC
	秋	2	Simon Rowe	金 1	NUC

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時間	開講キャンパス
(Academic) L3	春	1	Jonathan Watkins	水 2・金 2	NUC
	秋	2	Stuart Cunningham	火 2・木 2	KSC
(Academic) L4	春	3	Robert Higgins	月 3・金 3	NUC
	秋	1	Jonathan Watkins	水 3・金 3	NUC
(Business A) L2	春	2	Oana Cusen	月 2・金 2	NUC
	秋	1	Ellen Rettig-Miki	水 1	NUC
(Business B) L2	春	2	Michael Delve	木 4	KSC
	秋	3	Ellen Rettig-Miki	木 1	NUC
(TOEFL)	春	1	Ellen Rettig-Miki	水 2	NUC
	秋	2	Ellen Rettig-Miki	木 2	NUC
(TOEFL) L2	春	3	Michael Delve	木 3	KSC
	秋	1	Tim Dowling	木 2	NUC
(TOEIC)	春	2	Stuart Cunningham	水 3	KSC
	秋	3	Tim Dowling	木 1	NUC
(TOEIC) L2	春	4	Mary Chang	火 2	NUC
	秋	5	Mary Chang	水 2	NUC
(TOEIC) L3	春	6	Stuart Cunningham	水 2	KSC
	秋	1	Mary Chang	火 2	NUC
(TOEIC) L4	春	2	Mary Chang	水 2	NUC
	秋	3	Mark Donnellan	金 2	NUC
(TOEIC) L5	春	4	Craig Gamble	火 5	NUC
	秋	1	Mary Chang	火 1	NUC
(TOEIC) L6	春	2	Mary Chang	水 1	NUC
	秋	3	Mary Chang	金 1	NUC
(TOEIC) L7	春	4	Stuart Cunningham	火 4	KSC
	秋	5	Mary Chang	火 1	NUC
(TOEIC) L8	春	6	Mary Chang	金 1	NUC
	秋	7	John Syquia	木 2	NUC
(TOEIC) L9	春	8	Stuart Cunningham	水 3	KSC
	秋	1	Barry Condon	火 3	NUC
(TOEIC) L10	春	2	John Syquia	木 4	NUC
	秋	3	Barry Condon	火 3	NUC
(IELTS)	春	1	Tim Dowling	木 1	NUC
	秋	2	Mark Donnellan	月 4	NUC
(IELTS) L2	春	3	Stuart Cunningham	水 4	KSC
	秋	4	Tim Dowling	木 2	NUC
(IELTS) L3	春	5	Tim Dowling	金 3	NUC
	秋	1	Tim Dowling	木 1	NUC

NUC：西宮上ヶ原キャンパス KSC：神戸三田キャンパス ※開講クラス、担当者、曜日・時間は2021年2月現在のものです。最新の情報は、必ず教学Webまたは掲示で確認してください。

スキルアップ・コース

科目名	Special English Seminar 申込科目			
	授業を5日間連続で履修する集中講義です。短期間での集中的な学習により、「聞く・話す・読む・書く」の4技能を効率良く身に付けることができます。			
対象	全学部生	単位数	1単位（春集中：5日間）	定員
				75名
履修条件	なし			
履修上の注意	・5日間の授業に全て出席することが履修の前提となる。3コマ欠席すると不合格となる。 ・気象警報等の発令による授業中止対応として予備日を設定しているため、注意すること。 ・この科目を学部必修（選択必修）の言語教育科目（英語）に振り替えることはできない。 ・2021年度春学期末に卒業見込みの者は履修できない。			

学期	科目名	クラス	担当者	曜日・時限	開講キャンパス
春集中	Special English Seminar	1	Andrew Philpott Jonathan Watkins Michael Delve	2021年9月6日（月）～10日（金） ※予備日9月11日（土） 1限（9:00～10:40） 2限（10:50～12:30） 3限（13:10～14:50）	NUC

※最終日は、2限で終了します。

※開講クラス、担当者、曜日・時限は2021年2月現在のものです。最新の情報は、必ず教学 Web または掲示で確認してください。

授業紹介 Q & A

英語が好きな学生、留学希望・経験者にお勧め！ コンテンツ・コース

「英語コミュニケーション文化」副専攻（MS）プログラム履修中の合田さんに伺いました。



人間福祉学部3年
合田 倭子さん

Q 「英語コミュニケーション文化」副専攻（MS）プログラムに登録した理由は？

A 交換留学が決まり、留学するにあたって自分には何が足りないだろうと考えた時に、現地学生と対等に英語で会話し、現地の授業を十分に理解できる英語力が無いと感じました。有意義な留学生活にするために、英語力の向上や英語でのディスカッションやプレゼンテーションに慣れる必要があると思い、「英語コミュニケーション文化」副専攻（MS）プログラムに登録しました。

Q 「英語コミュニケーション文化」副専攻（MS）科目の魅力は？

A MS科目の魅力は、英語を学ぶのではなく、英語で学ぶことです。そのため、英語力が伸びるのはもちろん、文化や社会問題といった様々な分野も学ぶことができます。また、それらの分野に関して英語でディスカッションやプレゼンテーションをするので、学術的な英語の使い方を身に付けることができます。さらに、授業のディスカッションでクラスメイトと沢山話せるので、オンラインでも仲良くなれますよ！

Q 「英語コミュニケーション文化」副専攻（MS）科目の難しさは？

A MS科目の難しさは、課題が多く、授業外の学習が多いことです。授業の予習として資料を読んだり、調べものをしたり、プレゼンテーションの準備をしたり、と時間がかかるものが多いと感じます。また、それらが全て英語で読んだり、英語で書いたりしなければならないので難しく、うまくいかないこともあります。しかし、それを乗り越えると大きな達成感を感じることができ、自分に自信が持てるようになりました。沢山課題があるからこそ、その分練習できるので、効率よく英語力を上げることができると思います。

Q 「英語コミュニケーション文化」副専攻（MS）科目を通して学んだこととそれをどう活かしていきたいか？

A MS科目を通して、英語でのディスカッションやプレゼンテーション、ライティングなど学術的な場面での英語力を身に付けることができました。また、以前までは、自分の英語に自信がなかったため授業で発言することをためらっていたのですが、英語力が向上したことで自分に自信が持てるようになり、自分の意見を主張することができるようになりました。そのため、留学では、現地学生に負けないぐらい積極的に発言し、授業に参加することで有意義な留学生活にしていこうと思います。

コンテンツ・コース

英語で行う「調査・分析・議論・発表・読解・論文作成」は、様々な場面で応用できるコミュニケーション力を育成します。



科目名

Project-based Seminar in English

申込科目

英語で行われる学生参加型クラス。各分野に関する知識を身に付けながら、グループワークを通してクラス目標の達成を目指します。また、様々な学部から集まる仲間と協働して課題に取り組むことで、“実践的な”コミュニケーション力を鍛えます。

Study Abroad	必要レベル	L1	留学に関する様々な課題を認識し、留学先の国および日本の諸事情（文化、社会等）について一つにまとめた冊子および留学に向けたロードマップを協働して作成することで、計画的な留学準備を行います。留学生活において必須となる論理的思考力、ディスカッション力も鍛えます。
	定員	20名	
Area Studies	必要レベル	L1	国内・国外における各地域の特色ある文化や活動等から、自分達にとって社会的に関わりのあるテーマを設定し、その研究を通して自分達のコミュニティへの理解を深め、実践的なコミュニケーション力を鍛えます。
	定員	12名	
Career English	必要レベル	L3	自らのキャリアプランを作成する過程を通して、実践的な英語力、知識、技術およびディスカッション力、総合プレゼンテーション力、スピーチ力といった、グローバル社会で多様な人材と協働するために必要なコミュニケーション力を養成します。
	定員	15名	
Critical Writing	必要レベル	L3	学術的英文作成を学び、論文を作成する過程で論理的ライティング力、批判的読解力・思考力を鍛えます。また、他者の論文に対する議論を通して、批判的に評価する力や、英文作成が求められる様々な場面でも応用できるライティングスキルと知識を育成します。
	定員	12名	

対象

全学部生

単位数

2単位（週1回）

履修条件

各科目で必要とされるレベル認定を受けていること。

履修上の注意

この科目を学部必修（選択必修）の言語教育科目（英語）に振り替えることはできない。

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限	開講キャンパス
(Study Abroad)	春	1	Brian Wojtowicz	水 2	NUC
		2	Mary Chang	火 4	NUC
	秋	3	Brian Wojtowicz	木 3	NUC
		4	Michael Parrish	金 1	NUC
		5	Craig Gamble	水 3	NUC
(Career English)	春	1	Michael Parrish	月 4	NUC
		2	Ellen Rettig-Miki	金 4	NUC
	秋	3	Michael Parrish	月 4	NUC
		4	Oliver Rose	金 2	NUC

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限	開講キャンパス
(Critical Writing)	春	1	Craig Gamble	金 3	NUC
	秋	2	Craig Gamble	水 1	NUC
(Area Studies)	春	1	Robert Higgins	金 3	NUC
		2	Oana Cusen	月 4	NUC
		3	John Syquia	金 2	NUC
	秋	4	Robert Higgins	木 2	NUC
		5	Robert Higgins	金 4	NUC
		6	Oana Cusen	月 4	NUC

※開講クラス、担当者、曜日・時限は2021年2月現在のものです。最新の情報は、必ず教学 Web または掲示にて確認してください。

コンテンツ・コース

科目名

Language and Communication / Culture and Society / Academic Writing and Presentation

申込科目 重複履修可

これらの科目は、言葉によるコミュニケーションを支える「言語・心理的側面」と「社会・文化的側面」の二つの枠組みを中心とした専門科目を体系的に学ぶ、「言語コミュニケーション文化」副専攻（MS）プログラムのコアとなる科目です。
“英語を”ではなく“英語で”学び、あたかも海外の大学の授業を体験できるような科目です。

Language and Communication

言語とコミュニケーション、応用言語学、言語と認知など、主に言語・心理分野に関連した内容を学びます。
副題例：“Introduction to Sociolinguistics”，“English Pronunciation and Communication”

Culture and Society

言語と社会、異文化理解、英語圏の文化など、主に社会・文化分野に関連した内容を学びます。
副題例：“Irish Culture”，“Social and Environmental Issues”，“Learning about Film and TV”

Academic Writing and Presentation

担当教員が決めたトピックに従って、プレゼンテーションを行い、5枚以上の英文レポートを作成することで、学術英語や英語での論文の書き方を学びます。

対象

全学部生

単位数

2単位（週1回）

定員

12名

履修条件

L3のレベル認定を受けていること。

履修上の注意

- ・この科目を学部必修（選択必修）の言語教育科目（英語）に振り替えることはできない。
- ・Language and Communication および Culture and Society の各クラスの副題は、シラバスで確認すること。
- ・同一担当者の同一副題の科目は重複履修できない。

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限	開講キャンパス
Language and Communication	春	1	Lydia Eberly	木 2	NUC
		2	Robert Higgins	月 4	NUC
		3	Robert Higgins	金 4	NUC
		4	Daniel Andrzejewski	木 4	NUC
		5	Barry Condon	月 1	NUC
		6	Barry Condon	水 3	NUC
		7	Stuart Cunningham	火 3	KSC
	秋	8	Mark Donnellan	金 3	NUC
		9	Barry Condon	金 2	NUC
		10	Barry Condon	火 4	NUC
		11	Daniel Andrzejewski	月 3	NUC
		12	Michael Delve	水 2	NUC
		13	Michael Delve	金 4	NUC
		14	John Syquia	月 2	NUC
		15	John Syquia	月 4	NUC
		16	Stuart Cunningham	木 1	KSC

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限	開講キャンパス
Culture and Society	春	1	Andrew Nowlan	火 2	NUC
		2	Craig Gamble	水 2	NUC
		3	Mark Donnellan	金 1	NUC
		4	Brian Wojtowicz	金 4	NUC
		5	未定	未定	NUC
		6	Robert Higgins	火 4	NUC
		7	Rian Davis	火 5	NUC
		8	Stuart Cunningham	木 4	KSC
	秋	9	Andrew Nowlan	火 2	NUC
		10	Andrew Philpott	水 2	NUC
		11	Mark Donnellan	月 3	NUC
		12	Mark Donnellan	月 4	NUC
		13	Oana Cusen	水 2	NUC
		14	Lydia Eberly	金 2	NUC
		15	未定	未定	NUC
		16	Rian Davis	火 4	NUC
		17	Rian Davis	火 5	NUC
		18	Stuart Cunningham	木 3	KSC
Academic Writing and Presentation	春	1	John Syquia	火 2	NUC
		2	John Syquia	火 3	NUC
		3	John Syquia	金 3	NUC
	秋	4	Ellen Rettig-Miki	月 1	NUC
		5	John Syquia	水 2	NUC
		6	John Syquia	水 3	NUC

副題はシラバスの授業目的欄で確認してください。

シラバス情報/Syllabus Information	
■ 授業情報/Class Information	
授業コード/Class code	45111003 開講キャンパス/Campus
授業開講年度/Academic Year	
管理部/Department	言語教育研究センター/Language Center
【科目ナンバ】/Course Number	【300】Language and Communication 3/Language and Communication
授業名称/Class Title	
単位数/Credit	2 履修期/Term
担当者/Instructor	
履修基準年度/Standard Year for Registration	1年
授業目的/Course Purpose	Subtitle: Impact of Technology on Language In this Language and Communication 3 course, students will learn about a of modern factors enough to conduct surveys and give presentations.

NUC：西宮上ヶ原キャンパス KSC：神戸三田キャンパス

※開講クラス、担当者、曜日・時限は2021年2月現在のものです。
最新の情報は、必ず教学 Web または掲示で確認してください。

「英語コミュニケーション文化」副専攻（MS）プログラム

言語教育研究センターが開講している英語インテンシブ・プログラムを基礎とし、言葉によるコミュニケーションを支える「言語・心理的側面」と「社会・文化的側面」の二つの枠組みを中心とした専門科目を履修し、英語圏の文化と英語によるコミュニケーションを総合的に研究するものです。プログラムコア科目は全て、“英語を”ではなく、“英語で”学ぶ、ネイティブ教員によるオールイングリッシュの少人数制授業。学内で海外留学を体験できるようなプログラムとなっています。



プログラム履修のメリット

- 海外の大学さながらの環境で、オールイングリッシュの専門科目を受講できます。
- 将来留学を目指す学生や、帰国後更に英語力を伸ばしたい学生には最適のプログラムです。
- プログラムコア科目でクラス定員を超える申込者があった場合は、抽選の際にプログラム履修許可者が優先されます。
- プログラム修了者には、卒業時に、卒業証書の他に独自の修了証書が授与されます。

プログラム申込

※詳細は入学時に配布された「複数分野専攻制への扉」を確認してください。

対象

1、2年生（理工・総合政策・理・工・生命環境・建築学部除く）

申込要件

	TOEFL ITP® TEST / TOEFL iBT® TEST	TOEIC® L&R TEST (IP テスト含む)	IELTS (Academic Module)	実用英語技能検定
スコア／級	500 点以上／61 点以上	600 点以上	5.0 以上	準 1 級以上

※受験年から2年以内のスコア。但し、TOEIC® L&R TEST、実用英語技能検定は有効期限なし。

説明会

プログラム開始時期	日程
2 年次秋学期	4 月 26 日（月） 12：45～13：15 5 月 7 日（金） 12：45～13：15
2 年次春学期 または 3 年次春学期	10 月 27 日（水） 12：45～13：15 11 月 5 日（金） 12：45～13：15

※場所は教学 Web または掲示で確認してください。

申込

提出書類

① 複数分野専攻願（教務機構事務部に配布）

② 申込要件を満たす点数表の原本とコピー（原本は確認後、その場で返却。）

※言語教育研究センターで L3（Level3）以上のレベル認定を受けている場合、点数表の提出は不要です。

※出願時点で申込要件を満たす点数表が提出できない場合は、所定の期日までにレベル認定を受けてください。

詳細は、掲示を確認してください。

提出先

教務機構事務部（G 号館 1 階）

プログラム開始時期	対象者		申込期間	許可者発表
	1 年生	2 年生		
2 年次秋学期	—	○	5 月 6 日（木）～13 日（木）	7 月 21 日（水） 教学 Web にて発表
2 年次春学期 または 3 年次春学期	○	○	11 月 4 日（木）～12 日（金）	2022 年 1 月 19 日（水） 教学 Web にて発表

FRANÇAIS・DEUTSCH

フランス語／ドイツ語インテンシブ・プログラム

集中的な外国語学習で

コミュニケーション能力を身に付けます。



プログラムの特徴

POINT 1

実践的・総合的な言語運用能力の育成

「文法・読解」を中心とした学習ではなく、「聞く・話す・読む・書く」という総合的なフランス語／ドイツ語の運用能力に重点を置きます。

POINT 2

具体的な到達目標

実用英語技能検定などと同様、社会的認知を受けている機関が判定する具体的な到達目標を設定し、以下の資格取得を目指したプログラムを提供します。

フランス語

公益財団法人フランス語教育振興協会 実用フランス語技能検定試験 2 級または
フランス国民教育省 フランス語資格試験 DELF B1

ドイツ語

ゲーテ・インスティトゥート ドイツ語検定試験 GOETHE-ZERTIFIKAT B1

フランス語／ドイツ語インテンシブ・プログラム カリキュラム

() 内は単位数

	コース名	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
		春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
必修科目	学部必修（選択必修） フランス語／ドイツ語レギュラー・コース	学部フランス語／ドイツ語科目（8）						詳細は p.22 の 学部開講フランス語／ドイツ語科目 履修体系	
	フランス語インテンシブ・コース 対象：文・社会・法・経済・商・国際学部生 詳細は p.19	学部フランス語 科目（2）	フランス語 インテンシブ 初級Ⅰ（3）	フランス語 インテンシブ 初級Ⅱ（3）					
	ドイツ語インテンシブ・コース 対象：神・文・社会・法・経済・商・国際学部生 詳細は p.20	学部ドイツ語 科目（2）	ドイツ語 インテンシブ 初級Ⅰ（3）	ドイツ語 インテンシブ 初級Ⅱ（3）					
選択科目	詳細は p.19,20 対象：全学部生	フランス語／ドイツ語インテンシブ 初級Ⅲ／中級（2）							

重要

出席・遅刻の制度

- ・授業開始から 5 分以上遅れると「遅刻」となる。
- ・欠席は理由の如何に関わらず「欠席」として取り扱う。
- ・「不合格」となる欠席及び遅刻の回数は右表の通りとする。
- ・不合格となった場合、その後の授業に出席することはできない。

科目名	欠席	遅刻
インテンシブ初級Ⅰ／初級Ⅱ	6	10
インテンシブ初級Ⅲ／中級	4	8

フランス語／ドイツ語インテンシブ・コース（インテンシブ初級Ⅰ／初級Ⅱ）申込・選考スケジュール

説明会

インテンシブ・コースの概要や申込方法について説明します。

日程	フランス語	ドイツ語
	5月28日(金) 12:45～13:15 6月7日(月) 12:45～13:15	5月28日(金) 12:45～13:15 6月7日(月) 12:45～13:15

※説明会に参加できなくても、コースへの申し込みは可能です。

※場所は教学 Web または掲示で確認してください。

Web 申込&選考

フランス語

STEP 1

Web 申込：言語教育研究センター HP 上の申込フォームに必要事項を入力し、送信してください。

申込フォーム：https://www.kwansei.ac.jp/c_language/



STEP 2

選考申込用紙提出：選考申込用紙の提出をもって、書類選考を実施します。所定の選考申込用紙を言語教育研究センター HP から印刷または事務室で受け取り、事務室へ提出してください。

申込&選考申込用紙提出期間：6月7日(月)～18日(金) **16:00**

ドイツ語

STEP 1

Web 申込：言語教育研究センター HP 上の申込フォームに必要事項を入力し、送信してください。

申込フォーム：https://www.kwansei.ac.jp/c_language/

申込期間：6月7日(月)～18日(金) **16:00**



STEP 2

選考試験実施日：6月26日(土)

※申込者数によって選考試験の実施を決定します。実施の有無は申込期間終了後にお知らせします。

※フランス語またはドイツ語インテンシブ・コースと1年次秋学期開始インテンシブ・イングリッシュ・コースの併願は可能。ただし、両方のコースに合格した場合、どちらか一方を選択する。

選考結果発表

7月9日(金) 8:50 教学 Web にて発表

インテンシブ初級Ⅲ／中級 履修手続

教学 Web での申込

下記期間に教学 Web で申し込みを行ってください。クラス定員を超える申込者があった場合は抽選を実施します。申込期間内であれば、教学 Web から取消・変更が可能です。なお、定員に満たないクラス等で追加申込を受け付ける場合があります。適宜教学 Web を確認してください。

※当選科目の履修中止はできません。シラバス等で授業内容を十分確認の上、申し込んでください。

	春学期開講	秋学期開講
Web 申込期間	4月1日(木) 8:50～3日(土) 16:50	9月9日(木) 9:00～10日(金) 16:00
Web 申込結果発表	4月7日(水) 8:50	9月15日(水) 8:50
追加申込期間	4月7日(水) 8:50～11:30	9月15日(水) 8:50～11:30
追加申込結果発表	4月7日(水) 17:00	9月16日(木) 8:50

先修条件特例措置 ※先修条件を満たしていない場合

当該科目の先修科目修得と同等以上のレベルに達していると自己判断する場合は、言語教育研究センターにメールで面接申込を行ってください。面接によって認められた場合、履修資格を得ることができます。詳細は HP で確認してください。

	春学期開講	秋学期開講
申込期限	4月2日(金) 16:50	9月10日(金) 16:00
面接選考	4月5日(月)	9月13日(月)
履修許可発表	4月7日(水) 8:50 教学 Web にて発表	9月15日(水) 8:50 教学 Web にて発表

フランス語インテンシブ・プログラム

フランス語インテンシブ・コース

科目名	フランス語インテンシブ初級Ⅰ／フランス語インテンシブ初級Ⅱ 学部必修（選択必修）に代わる科目		
対象	文・社会・法・経済・商・国際学部生	単位数	合計 6 単位
履修条件	1 年次春学期に所属学部必修（選択必修）言語教育科目（フランス語）2 単位を修得、および言語教育研究センターが実施する選考に合格。 p.18 参照		
履修上の注意	・フランス語インテンシブ・コース履修者は、インテンシブ・イングリッシュ・コース／ドイツ語インテンシブ・コースを履修できない。 ・「初級Ⅰ」の単位を修得できなかった場合は、2 年次春学期より所属学部のレギュラー・コースに戻り、未修得の単位を修得する。 ・必修科目として「初級Ⅰ」を修得した場合は、引き続き必修科目として「初級Ⅱ」を履修しなければならない。 ・「初級Ⅱ」を履修したにも関わらず、単位を修得できなかった場合は、所属学部のレギュラー・コースに戻ることはできない。 ・文学部文学言語学科フランス文学フランス語学専修生は、この科目は自由履修科目となる。 ・国際学部生は「初級Ⅱ」は選択科目となるが、「初級Ⅰ」に引き続き履修しなければならない。		
定員	約 20 名		

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
初級Ⅰ	秋	1	ベレック セドリック	月 2
			セリー ソニエ	水 3
			北村 直子	金 1
		2	ベレック セドリック	月 4
			セリー ソニエ	水 4
			北村 直子	金 2
	春	3	ケルネン フローラン	月 4
			ケルネン フローラン	水 4
			中田 浩司	金 3

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
初級Ⅱ	春	1	ベレック セドリック	月 2
			セリー ソニエ	水 3
			北村 直子	金 1
		2	ベレック セドリック	月 4
			セリー ソニエ	水 4
			北村 直子	金 2
	秋	3	ケルネン フローラン	月 4
			ケルネン フローラン	水 4
			中田 浩司	金 3

科目名	フランス語インテンシブ初級Ⅲ 申込科目 重複履修可		
対象	全学部生	単位数	2 単位（週 2 回）
履修条件	以下のいずれかに該当すること。 ①「フランス語インテンシブ初級Ⅰ・Ⅱ」を修得 ②必修（選択必修）言語教育科目（フランス語）8 単位を修得 ※文学部文学言語学科フランス文学フランス語学専修生、総合政策・建築・国際学部生はそれに相当する単位の修得をもって履修資格を満たすことが可能。具体的な科目名はこちらを確認 →  ③先修条件特例措置により履修資格を取得 p.18 参照		
定員	約 20 名		

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
初級Ⅲ	春	1	ラマル J.	水 5
			シェラス C.	金 3

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
初級Ⅲ	秋	2	ラマル J.	月 1
			ラマル J.	水 4
		3	ラマル J.	月 2
			ラマル J.	水 3

科目名	フランス語インテンシブ中級 申込科目 重複履修可		
対象	全学部生	単位数	2 単位（週 2 回）
履修条件	以下のいずれかに該当すること。 ①「フランス語インテンシブ初級Ⅲ」を修得 ②「フランス語中期留学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を修得 ③先修条件特例措置により履修資格を取得 p.18 参照		
定員	約 20 名		

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
中級	春	1	ラマル J.	月 4
			ラマル J.	水 3

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
中級	秋	2	ラマル J.	水 5
			シェラス C.	金 3

※開講キャンパスは全て西宮上ヶ原キャンパス ※開講クラス、担当者、曜日・時限は 2021 年 2 月現在のものです。最新の情報は、必ず教学 Web または掲示で確認してください。

ドイツ語インテンシブ・プログラム

ドイツ語インテンシブ・コース

科目名	ドイツ語インテンシブ初級Ⅰ／ドイツ語インテンシブ初級Ⅱ 学部必修（選択必修）に代わる科目		
	1 年次秋学期より他学部仲間と共に、集中的なドイツ語の授業を履修します。授業はネイティブ教員と日本人教員のチーム・ティーチングで行われ、1 年次秋学期に「初級Ⅰ」（週 3 回・3 単位）を、2 年次春学期に「初級Ⅱ」（週 3 回・3 単位）を履修します。		
対象	神・文・社会・法・経済・商・国際学部生	単位数	合計 6 単位
		定員	約 20 名
履修条件	1 年次春学期に所属学部必修（選択必修）言語教育科目（ドイツ語）2 単位を修得、および言語教育研究センターが実施する選考に合格。 p.18 参照		
履修上の注意	・ドイツ語インテンシブ・コース履修者は、インテンシブ・イングリッシュ・コース／フランス語インテンシブ・コースを履修できない。 ・「初級Ⅰ」の単位を修得できなかった場合は、2 年次春学期より所属学部のレギュラー・コースに戻り、未修得の単位を修得する。 ・必修科目として「初級Ⅰ」を修得した場合は、引き続き必修科目として「初級Ⅱ」を履修しなければならない。 ・「初級Ⅱ」を履修したにも関わらず、単位を修得できなかった場合は、所属学部のレギュラー・コースに戻ることはできない。 ・文学部文学言語学科ドイツ文学ドイツ語学専修生は、この科目は自由履修科目となる。 ・国際学部生は「初級Ⅱ」は選択科目となるが、「初級Ⅰ」に引き続き履修しなければならない。		

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時間
初級Ⅰ	秋	1	ニシダ R.	月 2
			西田 隆雄	水 3
			ヒンスケン トーマス	金 1
		2	ニシダ R.	月 4
			西田 隆雄	水 4
			ヒンスケン トーマス	金 2

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時間
初級Ⅱ	春	1	ニシダ R.	月 2
			西田 隆雄	水 3
			ヒンスケン トーマス	金 1
		2	ニシダ R.	月 4
			西田 隆雄	水 4
			ヒンスケン トーマス	金 2

科目名	ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ 申込科目 重複履修可		
	春学期は 3 年生以上を対象に、秋学期は 2 年生以上を対象に開講され、選択科目として授業が行われます。		
対象	全学部生	単位数	2 単位（週 2 回）
		定員	約 20 名
履修条件	以下のいずれかに該当すること。 ①「ドイツ語インテンシブ初級Ⅰ・Ⅱ」を修得 ②必修（選択必修）言語教育科目（ドイツ語）8 単位を修得 ※文学部文学言語学科ドイツ文学ドイツ語学専修生、総合政策・建築・国際学部生はそれに相当する単位の修得をもって履修資格を満たすことが可能。具体的な科目名はこちらを確認 ③先修条件特例措置により履修資格を取得 p.18 参照		



科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時間
初級Ⅲ	春	1	シュビンレル T.	水 4
			阿部 卓也	金 2

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時間
初級Ⅲ	秋	2	シュビンレル T.	水 4
			阿部 卓也	金 2

科目名	ドイツ語インテンシブ中級 申込科目 重複履修可		
	選択科目としてネイティブ教員によって授業が行われます。		
対象	全学部生	単位数	2 単位（週 2 回）
		定員	約 20 名
履修条件	以下のいずれかに該当すること。 ①「ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ」を修得 ②先修条件特例措置により履修資格を取得 p.18 参照		

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時間
中級	春	1	シュビンレル T.	水 3
			ヒンスケン トーマス	金 3

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時間
中級	秋	2	シュビンレル T.	水 3
			ヒンスケン トーマス	金 3

※開講キャンパスは全て西宮上ヶ原キャンパス ※開講クラス、担当者、曜日・時間は 2021 年 2 月現在のものです。最新の情報は、必ず教学 Web または掲示で確認してください。

フランス語／ドイツ語海外研修

夏休みを利用し、本学と協定を締結している大学で約1ヶ月間フランス語／ドイツ語を学ぶプログラムです。

フランス・ドイツともに外国人のための外国語研修プログラムとして着実な実績をあげているプログラムに参加します。1ヶ月に約100時間の集中した授業により、言語運用能力の飛躍的な向上が図れるとともに、学生寮やホームステイでの生活体験を通し、実践的なコミュニケーション能力の向上や、異文化への深い理解が期待できます。



フランス語プログラム概要

参加資格	全学部生 ※言語教育科目のフランス語を履修していることが望ましい。
募集定員	25名
研修先	フランシュ・コンテ大学 応用言語センター (C.L.A.) ブルゴーニュ＝フランシュ＝コンテ地域圏 プザンソン市
実施期間	8月上旬～9月上旬
宿舍	大学が提供する寮<予定>
参加費用	約45万円



ドイツ語プログラム概要

参加資格	全学部生 ※言語教育科目のドイツ語を履修していることが望ましい。
募集定員	5～15名 ※参加者が5名に満たない場合は実施しない。
研修先	プレーメン大学 プレーメン州
実施期間	8月中旬～9月上旬
宿舍	ホームステイ<予定>
参加費用	約43万円

2021年度実施説明会・申込・選考については、HP・教学Web等でお知らせします。

注意事項

- ・参加費用には渡航費・授業料・宿泊費・海外旅行保険が含まれます。別途、食事・交通費・滞在税の支払いが必要です。
- ・参加費用は為替レートの変動等やむを得ない事情により、追加徴収することがあります。
- ・国際情勢の変動などにより、本学の判断で中止またはスケジュールを変更する場合があります。
- ・参加者は出発までに数回行われるオリエンテーション・事前研修に必ず出席しなければなりません。
- ・研修先大学が発行する成績に基づき、帰国後に単位認定願を所属学部提出することで、単位認定（フランス語4単位／ドイツ語3単位）が可能です。



言語教育研究センターHPに
過年度参加者のレポートを掲
載しています。

フランス語 インテンシブ・コース履修者 海外研修参加者の声



法学部4年
森田 美咲さん

私が第2外国語にフランス語を選択した理由は、将来の夢にあります。世界に貢献する人材となるため、国際機関で働くことを目標としているのですが、手段として英語の次に多数の発展途上国で使用されているのがフランス語で、国連の公用語の中にも入っていることを認識していたため、フランス語を学ぶことを決めました。また単に世界史においてフランスの歴史・文化が好きだったため原本のフランス語で作品に触れてみたいといった好奇心からきた理由もあります。

第2外国語として大学で学ぶのに使えなくてはもったいないと思い、インテンシブの履修を決めました。私は法学部ですが、言語としてのフランス語の勉強も出来る機会を逃す訳にはいかない、という衝動にかられました。インテンシブの授業は学部も様々で、学部の第2外国語の授業よりも、「使える」言語として学べつつ、他学部の友だちが出来、ペアワークや動画鑑賞を通じて週に何度も顔を合わせることで仲良くなれます。インテンシブの先生方は、私たちが実際に話せる・聞ける・書けるまで、分からない所があればいつでも質問していいよ、と凄く親身になって指導して下さいます。一度学んだだけでは理解しづらいような項目でも、分かっていることに気付いてもらえて復習などに繋がって貰えます。

フランス語は日本語と違って男性・女性名詞と分類があったり、日本人にとって発音が特殊で困難であったり、正直英語よりも習得することが難しいという印象を持っています。フランス語海外研修で、学校の友だちや現地の人々とのコミュニケーションを通じて自発的に会話を起こすことが出来たのは、本当に良い経験になりました。

学校には日本人以外にも世界各地から来たフランス語を学びたい仲間がいて、非母語話者同士フランス語での意思疎通をはかろうと試みたり、時には学校のイベントでカラオケがあり母国の歌で盛り上がり、1カ月で得られるものは想像以上に多くとても充実していました。フランス人はもちろん、多くの国の知り合いが出来たため、フランス語を介してたくさんのコミュニケーションをこれからも取れる機会が存分に得られました。インテンシブの授業や海外研修プログラムを通して多様な経験が出来ます。ぜひ積極的に参加することをお勧めします！

※インタビュー内容は取材当時のものです。

〈参考〉学部開講フランス語科目履修体系

2021 年度入学生のカリキュラムです。

() 内は単位数

	1 年次		2 年次	
	春	秋	春	秋
文	A I (1) B I (コミュニケーション) (1)	A II (1) B II (コミュニケーション) (1)	A III (1) B III (1)	A IV (1) B IV (1)
社会	I (2)	II (2)	III a (1) III b (1)	IV a (1) IV b (1)
法	A I (1) B I (1)	A II (1) B II (1)	A III (1) B III (1)	A IV (1) B IV (1)
経済	I (2)	II (2)	III (2)	IV (2)
商	I (読解) (1) I (表現) (1)	II (読解) (1) II (表現) (1)	III (読解) (1) III (表現) (1)	IV (読解) (1) IV (表現) (1)
理／工／生命環境	文法 I (1)、文法 II (1)、読解 I (1)、読解 II (1)			
総合政策／建築	I (2)	II (2)	III (2)	IV (2)
人間福祉	I (2)	II (2)	III (2)	IV (2)
国際	I (2)	II (2)	III (2)	IV (2)

〈参考〉学部開講ドイツ語科目履修体系

2021 年度入学生のカリキュラムです。

	1 年次		2 年次	
	春	秋	春	秋
神	入門甲 (1) 入門乙 (1)	初級甲 (1) 初級乙 (1)	中級 A 甲 (1) 中級 A 乙 (1)	中級 B 甲 (1) 中級 B 乙 (1)
文	A I (1) B I (コミュニケーション) (1)	A II (1) B II (コミュニケーション) (1)	A III (1) B III (1)	A IV (1) B IV (1)
社会	I (2)	II (2)	III (2)	IV (2)
法	A I (1) B I (1)	A II (1) B II (1)	A III (1) B III (1)	A IV (1) B IV (1)
経済	I (2)	II (2)	III (2)	IV (2)
商	I (2)	II (2)	III (2)	IV (2)
理／工／生命環境	文法 I (1)、文法 II (1)、読解 I (1)、読解 II (1)			
総合政策／建築	I (2)	II (2)	III (2)	IV (2)
人間福祉	I (2)	II (2)	III (2)	IV (2)
国際	I (2)	II (2)	III (2)	IV (2)

元々「日本人に感覚が似ている」と言われているドイツに興味を持ち、日本史が好きなのも相まってドイツの歴史を調べはじめ、ドイツ語に初めて触れ勉強したいと思いました。それが高校生の時で、ちょうど選択授業の候補にドイツ語があったので選択し、そのまま大学でも続けたいと考えました。ドイツ語を学ぶにあたって、高校の間や 1 年生の春学期では日本人の先生が丁寧に教えてくださったのですが、「より流暢に・よりの確に・より本格的に」自分のものにしたいと思いインテンシブを履修しました。

インテンシブのクラスは約 20 人のクラスで週に 3 回、各曜日で担当の先生が決まっています。テキストだけではなく、付属の DVD を使用し、リスニングをします。会話の練習、課題の確認などペア・グループワークが基本的に、自分で考えた後に他の人の考えや答えを聞いてお互いに相談することも多くありました。そうすることで、課題の分からなかった箇所や、聞き取れなかった箇所、反対に理解していることをたがいに共有することで自分の理解を深められました。それでもわからない点はネイティブの先生に聞くことで日本語の感覚ではなくドイツ語の感覚で理解ができるようになっていきます。

ドイツ語は単語が長いこと、英語を履修していると綴りが英語と混ざってしまうことが欠点に挙げられます。しかし、ドイツらしさがにじみ出ている文章構成や単語の並べ方など、勉強しなければわからない魅力が多く存在します。その「ドイツらしさ」を見つめるのがとても楽しかったです。

2 年生の夏には、ドイツ語海外研修に参加しました。ドイツの方々は英語で話しかけるよりもドイツ語で話しかけたほうが親切に、そして嬉しそうに会話を続けてくれました。そして念願のドイツの歴史にドイツ語で触れることができました。まだまだ専門用語が多くわからないこともありましたが、スタッフの方に聞くと優しい単語や説明に言い換えて教えてくださいました。このことから、ドイツにはドイツ語があるのでその国について知りたいこと、その国に行きたいのであればその国の言語を少しでも知っておくことが大切であると思いました。

今まで 4 年間学習してきたドイツ語を無駄にするのではなく、まだ漠然とはしていますが、まずは日々の学習を継続し、ネイティブのドイツの方々には日本文化を正確に発信・伝達できるようになりたいと考えています。そして日本とドイツの文化の架け橋となるように努力します。

ドイツ語
インテンシブ・コース履修者
海外研修参加者の声



文学部 4 年
山田 桜瑚さん

※インタビュー内容は取材当時のものです。

選択言語

海外旅行をより楽しみたい、将来国際的な企業で仕事をしたい、特定の地域や文化・歴史に興味があるなど、言語を学ぶ理由や動機は人それぞれです。様々な言語を学ぶことで、自分とは異なる他人の立場になって考えたり、異なる見方で世界を見ることができるようになります。興味のある言語があれば、ぜひ選択言語科目を履修してください。

目指せマルチリンガル



履修手続き

教学 Web での申込 ※「基礎フランス語Ⅰ」「フランス語アラカルト（聞く・話す）A」「日本手話初級Ⅰ」のみ

下記期間に教学 Web で申し込みを行ってください。クラス定員を超える申込者があった場合は抽選を実施します。
申込期間内であれば、教学 Web から取消・変更が可能です。
なお、定員に満たないクラス等で追加申込を受け付ける場合があります。適宜教学 Web を確認してください。
※当選科目の履修中止はできません。シラバス等で授業内容を十分確認の上、申し込んでください。

	春学期開講	秋学期開講
Web 申込期間	4月1日（木）8：50～3日（土）16：50	9月9日（木）9：00～10日（金）16：00
Web 申込結果発表	4月7日（水）8：50	9月15日（水）8：50
追加申込期間	4月7日（水）8：50～11：30	9月15日（水）8：50～11：30
追加申込結果発表	4月7日（水）17：00	9月16日（木）8：50

履修登録

申込科目以外の選択言語を履修するには、下記の履修登録期間および修正期間に教学 Web で履修登録を行ってください。

		春学期開講	秋学期開講
履修登録期間	神・文・社会・法・経済学部	4月8日（木）8：50～12日（月）16：50	9月21日（火）8：50～23日（木）16：50
	商・理工・総合政策・人間福祉・教育・国際・理・工・生命環境・建築学部	4月9日（金）8：50～13日（火）16：50	
修正期間	全学部共通	4月16日（金）8：50～17日（土）16：50	9月27日（月）8：50～28日（火）16：50

先修条件特例措置

当該科目の先修科目修得と同等以上のレベルに達していると自己判断する場合は、下記の手続きを行ってください。

STEP 1

初回授業時

- ・選択言語科目履修許可願に必要事項を記入の上、担当教員に提出し、理由等を説明する。
- ・担当教員が履修可否をその場で判定し、許可願に必要事項を記入し、学生に返却する。

※許可願は言語教育研究センターHPから印刷、または事務室で受け取り。

STEP 2

許可願を下記期間までに言語教育研究センターに提出する。

春学期開講	秋学期開講
4月15日（木）11：30	9月28日（火）11：30

※「フランス語アラカルト（読む／書く）」「ドイツ語アラカルト（読む／書く）」「日本手話初級Ⅱ」はこの手続きの対象外です。
※秋学期木曜授業についてはメール申請予定（詳細は教学 Web・HP で案内）

科目名	次ページ (p.25) 参照			
対象	全学部生	単位数	1 単位 (週 1 回)	定員
履修上の注意	以下の科目のみ定員があります。 基礎フランス語Ⅰ：各クラス 40 名 フランス語アカカルト (聞く・話す) A：各クラス 30 名 日本手話初級Ⅰ・Ⅱ：各クラス 16 名			

フランス語／ドイツ語

・「アカカルト」はシラバスに示された履修要件を参照の上、各自が自分のレベルを判断して科目を選択・履修する。この科目には先修条件はないが、履修にあたって学部必修 (選択必修) の言語教育科目のフランス語／ドイツ語 (インテンシブを含む) および言語教育研究センター開講選択言語科目の「基礎フランス語／ドイツ語」から 4 単位程度修得していることが望ましい。
 ・「アカカルト (読む) / (書く)」の履修基準年度は 2 年生以上とする。

中国語

・所属学部において選択必修科目もしくは選択科目として中国語を履修もしくは修得した学生は、「基礎中国語Ⅰ～Ⅳ」を履修できない。
 ・「中国語中級」の履修対象者は、学部選択必修科目 (総合政策・建築・国際学部生は選択科目含む) の中国語 8 単位修得者とする。
 ・「先修条件の特例措置」を利用して「中国語中級」を履修する場合、中国語検定試験 3 級合格または漢語水平考試 (HSK) 3 級合格を目安とする。

朝鮮語

・所属学部において選択必修科目もしくは選択科目として朝鮮語を履修もしくは修得した学生は、「朝鮮語初級Ⅰ」を履修できない。

スペイン語

・所属学部において選択必修科目もしくは選択科目としてスペイン語を履修もしくは修得した学生は、「スペイン語初級Ⅰ」を履修できない。

ロシア語／イタリア語／ポルトガル語／アラビア語／インドネシア語

・2016 年度以前に「初級Ⅲ」、「中級」を修得している場合も、「初中級」を履修することができる。

日本手話

・所属学部において選択必修科目もしくは選択科目として日本手話を履修もしくは修得した学生は、「日本手話初級Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

【全言語共通】

注 意：初修者のための授業です。(当該言語の) 母語話者の履修はご遠慮ください。もし、(当該言語の) 母語話者が履修した場合には、初修者とは異なる課題を課す場合があります。

先修条件：履修にあたって特定科目の単位を修得していることが必要となる条件のこと。

先修条件修得と同等以上のレベルに達していると自己判断する場合は、先修条件特例措置の手続き (p.23 参照) を行い、担当教員の許可を得ること、当該科目の履修が可能。

重複履修：一度単位を修得した後に同じ科目を再度履修すること。

科目名	左記科目の履修に必要な先修科目	重複履修の可否
基礎フランス語Ⅰ	—	×
基礎フランス語Ⅱ	基礎フランス語Ⅰ	×
基礎フランス語Ⅲ	基礎フランス語Ⅱ	×
基礎フランス語Ⅳ	基礎フランス語Ⅲ	×
フランス語アカカルト	—	○
基礎ドイツ語Ⅰ	—	×
基礎ドイツ語Ⅱ	基礎ドイツ語Ⅰ	×
基礎ドイツ語Ⅲ	基礎ドイツ語Ⅱ	×
基礎ドイツ語Ⅳ	基礎ドイツ語Ⅲ	×
ドイツ語アカカルト	—	○
基礎中国語Ⅰ	—	×
基礎中国語Ⅱ	基礎中国語Ⅰ	×
基礎中国語Ⅲ	基礎中国語Ⅱ	×
基礎中国語Ⅳ	基礎中国語Ⅲ	×
中国語中級	学部選択必修科目 (総合政策・建築・国際学部は選択科目含む) の中国語 8 単位修得	○
朝鮮語初級Ⅰ	—	×
朝鮮語初級Ⅱ	朝鮮語初級Ⅰ	×
朝鮮語初級Ⅲ	朝鮮語初級Ⅱ	○
朝鮮語中級	朝鮮語初級Ⅲまたは学部選択必修科目 (国際学部は選択科目含む) の朝鮮語 8 単位修得	○

科目名	左記科目の履修に必要な先修科目	重複履修の可否
スペイン語初級Ⅰ	—	×
スペイン語初級Ⅱ	スペイン語初級Ⅰ	×
スペイン語初級Ⅲ	スペイン語初級Ⅱ	○
スペイン語中級	スペイン語初級Ⅲまたは学部選択必修科目 (総合政策・建築・国際学部は選択科目含む) のスペイン語 8 単位修得	○
ロシア語初級Ⅰ	—	×
ロシア語初級Ⅱ	ロシア語初級Ⅰ	×
ロシア語初中級	ロシア語初級Ⅱ	○
イタリア語初級Ⅰ	—	×
イタリア語初級Ⅱ	イタリア語初級Ⅰ	×
イタリア語初中級	イタリア語初級Ⅱ	○
ポルトガル語初級Ⅰ	—	×
ポルトガル語初級Ⅱ	ポルトガル語初級Ⅰ	×
ポルトガル語初中級	ポルトガル語初級Ⅱ	○
アラビア語初級Ⅰ	—	×
アラビア語初級Ⅱ	アラビア語初級Ⅰ	×
アラビア語初中級	アラビア語初級Ⅱ	○
インドネシア語初級Ⅰ	—	×
インドネシア語初級Ⅱ	インドネシア語初級Ⅰ	×
インドネシア語初中級	インドネシア語初級Ⅱ	○
日本手話初級Ⅰ	—	×
日本手話初級Ⅱ	日本手話初級Ⅰ	×

科目名

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
基礎フランス語Ⅰ 申込科目	春	1	ケルネン フローラン	水2
		2	ラマル J.	月3
基礎フランス語Ⅱ	秋	1	ケルネン フローラン	水2
基礎フランス語Ⅲ	春	1	ケルネン フローラン	水3
基礎フランス語Ⅳ	秋	1	ケルネン フローラン	水3
フランス語アラカルト (聞く・話す) A 申込科目	春	1	ケルネン フローラン	月3
		2	ラマル J.	水4
フランス語アラカルト (聞く・話す) B	秋	3	ケルネン フローラン	月3
フランス語アラカルト (聞く・話す) C	春	1	シェラス C.	金4
	秋	2	シェラス C.	金4
フランス語アラカルト (読む)	春	1	シェラス C.	金5
	秋	2	シェラス C.	金5
フランス語アラカルト (書く)	春	1	松原 冬二	火4
	秋	2	松原 冬二	火4
基礎ドイツ語Ⅰ	春	1	ベレック セドリック	火2
基礎ドイツ語Ⅱ	秋	2	ベレック セドリック	火2
基礎ドイツ語Ⅲ	春	1	西田 隆雄	火3
基礎ドイツ語Ⅳ	秋	1	西田 隆雄	火3
ドイツ語アラカルト (聞く・話す) A	春	1	西田 隆雄	火4
ドイツ語アラカルト (聞く・話す) B	秋	1	西田 隆雄	火4
ドイツ語アラカルト (読む)	春	1	シュビンレル T.	水5
ドイツ語アラカルト (書く)	秋	2	シュビンレル T.	水5
基礎中国語Ⅰ	春	1	ヘーン M.	月3
基礎中国語Ⅱ	秋	2	ヘーン M.	月3
基礎中国語Ⅲ	春	1	リーダーバツハ H.	水2
基礎中国語Ⅳ	秋	2	阿部 卓也	木3
中国語中級	春	1	ヘーン M.	金3
	秋	2	ヘーン M.	金3
朝鮮語初級Ⅰ	春	1	王 棋	水3
		2	井出 克子	木2
朝鮮語初級Ⅱ	秋	1	王 棋	水3
		2	井出 克子	木2
朝鮮語初級Ⅲ	春	1	楊 霊琳	木4
		2	楊 霊琳	木4
朝鮮語中級	秋	1	趙 怡	月4
		2	張 素娟	金2
		3	趙 怡	月4
		4	張 素娟	金2
ポルトガル語初級Ⅰ	春	1	河村 光雅	火2
		2	川本 理絵	月4
		3	川本 理絵	火4
		4	高 潤香	月4
ポルトガル語初級Ⅱ	秋	1	河村 光雅	火2
		2	川本 理絵	月4
		3	川本 理絵	火4
ポルトガル語初級Ⅲ	春	1	河村 光雅	火3
		2	平井 清実	金1
ポルトガル語中級	秋	1	河村 光雅	火3
		2	平井 清実	金1

科目名	学期	クラス	担当者	曜日・時限
スペイン語初級Ⅰ	春	1	ミルトン・アギラル	火2
		2	マリア・ゴンサレス	火3
スペイン語初級Ⅱ	秋	1	ミルトン・アギラル	火2
スペイン語初級Ⅲ	春	1	マリア・ゴンサレス	火4
スペイン語中級	春	1	村上 陽子	金2
	秋	2	マリア・ゴンサレス	火3
		3	マリア・ゴンサレス	火4
ロシア語初級Ⅰ	春	1	バクン エレナ	木2
ロシア語初級Ⅱ	秋	1	バクン エレナ	木2
ロシア語初中級	春	1	バクン エレナ	木3
	秋	2	バクン エレナ	木3
イタリア語初級Ⅰ	春	1	落合 理恵子	火3
		2	渋谷 陽子	木4
		3	菅野 類	月4
		4	菅野 類	月5
	秋	5	渋谷 陽子	木5
		6	菅野 類	月4
イタリア語初級Ⅱ	春	1	渋谷 陽子	木5
	秋	2	落合 理恵子	火3
		3	渋谷 陽子	木4
		4	菅野 類	月5
イタリア語初中級	春	1	落合 理恵子	火4
	秋	2	落合 理恵子	火4
ポルトガル語初級Ⅰ	春	1	村松 英理子	木3
ポルトガル語初級Ⅱ	秋	1	村松 英理子	木3
ポルトガル語初中級	春	1	村松 英理子	木4
	秋	2	村松 英理子	木4
アラビア語初級Ⅰ	春	1	村田 靖子	火4
	秋	2	村田 靖子	火5
アラビア語初級Ⅱ	春	1	村田 靖子	火3
	秋	2	村田 靖子	火4
アラビア語初中級	秋	1	村田 靖子	火3
インドネシア語初級Ⅰ	春	1	富永 泰代	水2
		2	富永 泰代	水4
インドネシア語初級Ⅱ	秋	1	富永 泰代	水2
		2	富永 泰代	水4
インドネシア語初中級	春	1	富永 泰代	水3
	秋	2	富永 泰代	水3
日本手話初級Ⅰ 申込科目	春	1	馬場 博史	木2
日本手話初級Ⅱ	秋	1	前川 和美	木2

※開講キャンパスは全て西宮上ヶ原キャンパス

※開講クラス、担当者、曜日・時限は2021年2月現在のものです。
最新の情報は、必ず教学 Web または掲示で確認してください。

ポルトガル語
初級Ⅱ
履修者の声



神学部4年
山本 あすかさん

高校生のときから他言語を学ぶことが好きで、スペイン語、中国語、インドネシア語、アラビア語など様々な言語に今まで触れてきました。他言語を学ぶ上で楽しいと思うことの1つは、その国の出身の方と話したときにとても喜んでくれることです。完全に話すことができなくても相手の母国語で会話することは、相手との仲が深まるきっかけになると感じています。ポルトガル語はポルトガルだけでなく、ブラジルやマカオ、アンゴラやモザンビークなどのアフリカの国々でも話されているので、多くの人と仲良くなれるきっかけになればいいと思い履修しました。

ポルトガル語の授業では、少人数制のため会話の練習を何度も行うことができ、より実践的な会話能力を身につけることができます。また、教科書を使って勉強するだけでなく、DVDで実際の人々の暮らしを見たり、ボサノヴァやファドといった伝統的な音楽を聴いて歴史を学ぶなど、色々な視点から勉強しています。授業のたびに新しい発見や異文化に対する理解が深まり、今までの自分の視野の狭さにも気づかされました。

また、第37回全日本学生ポルトガル語弁論大会にて駐日ポルトガル大使賞を受賞しました。その副賞で、ポルトガルへの長期の留学も決まったので、より一層ポルトガル語の習得に努め、実りの多い日々を過ごしたいと思います。

※インタビュー内容は取材当時のものです。



言語教育研究センター視聴覚室

視聴覚室では、CD、カセットテープ、DVD、BD（ブルーレイディスク）、ビデオなどの外国語視聴覚資料の利用や貸出のサービスを提供しています。外国語の学習効果をより一層高めたい人はもちろん、留学準備に各検定試験の勉強をしている人は、一度視聴覚室をのぞいてみてください。資料を有効に利用することにより外国語との新しい出会いがあるかもしれません。なお、資料は関西学院大学図書館OPACにて検索可能です。

場所

西宮上ヶ原キャンパス
G号館 1階（国際教育・協力センター向かい）

利用時間

	室内利用	カウンターサービス
平日	8:50 ~ 16:50	8:50 ~ 11:30 12:30 ~ 16:50

※開室状況については、別途、HPまたは掲示で確認してください。

利用案内

検定関係資料・月刊継続資料の全て、その他学習用資料のほとんどを自由に閲覧することができます。室内の機器を使用して視聴してから借りることも可能です。視聴したい資料のタイトルが分かる場合は視聴覚室内にあるOPAC検索サイトで検索後、カウンタースタッフに申し出てください。また学習目的であれば、資料を持参し、機器のみ利用することもできます。

※利用には学生証が必要です。

貸出について

貸出できる資料	CD・CD-ROM・カセットテープ・テキスト
貸出期間	2週間（延長可能）
貸出資料数	3タイトルまで

各言語別（英語、フランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮語、スペイン語など）に入門から留学準備レベルまでの資料、検定対策資料、また月刊雑誌等を多数揃えています。

室内利用について

利用できる資料	CD・CD-ROM（MP3）・カセットテープ・テキスト・DVD・BD・ビデオ
---------	--

※ビデオ・DVD・BDの室外持出しはできません。

利用できる機器	CD・MD・カセットデッキ／DVDプレイヤー／BDプレイヤー／VHSビデオデッキ
---------	--

Q&A

Q カウンターサービス時間外（11:30～12:30）の間もDVDの視聴など、機器の利用はできますか？

A 11:30までに手続きをすれば、その時間も利用することができます。

Q 長期の休み中も、貸出期間は通常の2週間ですか？

A 長期休暇中に関しては、特別長期貸出期間をその都度設定しています。

Q 神戸三田・西宮聖和キャンパスの図書館で資料の取り寄せ・返却はできますか？

A いいえ、貸出・返却ともに西宮上ヶ原キャンパス視聴覚室で行う必要があります。神戸三田キャンパス図書メディア館、西宮聖和キャンパス図書館にも検定関係資料を配架していますので、必要に応じて、これら図書館施設を利用してください。



英語 e-learning 教材

英語運用能力試験でスコアアップを目指す学生や、留学を目指す学生を対象に以下のe-learning教材を用意しています。

どちらの教材もインターネット上で利用するため、必要環境を満たしたPC・インターネット環境があれば、場所や時間を問わず利用できます。

利用料は無料、自主学习に最適な教材材ですので興味のある方はぜひ活用してください。



ALC NetAcademy NEXT TOEIC® L&R テスト突破コース〈500点・600点・730点〉

TOEICテスト突破コースは、約40時間の学習を通してTOEICテストのスコアアップを目指します。「テスト攻略のポイント」を効率良く学習できるだけでなく、繰り返し演習問題に取り組むことで「実践力」も養うことができます。また、本番同様の模擬試験が収録されており、受験後はスコアシートが表示され、結果に応じた学習アドバイスが提示されます。

TOEFL iBT® Complete Practice Test

TOEFL iBT® TESTは、「聞く・話す・読む・書く」の4技能を総合的にコンピュータ上で測定するテストです。年間何度でもチャレンジ可能ですが、テストの所要時間は3時間と長く、受験料は1回235USドル*と高額です。効率良く学習を進めるためには、まずコンピュータでの出題形式に慣れることが欠かせません。

TOEFL iBT® Complete Practice Testは、過去問題を使用した本番同様のオンライン模擬試験です。テストに慣れるのに適した教材で、自分の実力を知るきっかけとしても役立ちます。

*2020年12月現在。料金は国によって異なる。

使用するには言語教育研究センター HPよりWeb申込が必要です。詳しくは以下のリンク先を確認してください。

https://www.kwansei.ac.jp/c_language/c_language_006270.html



TOEIC and TOEFL iBT are registered trademarks of Educational Testing Service (ETS).
This publication is not endorsed or approved by ETS.

学内実施の英語運用能力試験

英語インテンシブ・プログラム、「英語コミュニケーション文化」副専攻プログラム、および海外留学プログラムなどの申し込みを考えている学生は、所定の英語運用能力試験を受験する必要があります。

ここに掲載されている試験のスコアは、自動的にレベル認定されるため、点数表の提出は不要です。レベル認定の詳細は p11 を確認してください。また、受験後自動的にポートフォリオ (p.28) ヘスコアが反映されます。

TOEIC® L&R IP テスト

全学 TOEIC® ※受験必須

無料実施 主催：関西学院大学

試験日	実施 キャンパス	対象者	受験料	申込期間	申込方法	結果返却予定日	詳細確認方法
5月29日(土)	NUC	神・文・社会・法・経済・商・人間福祉・教育・国際・理・工・生命環境・建築学部 1年生および国際学部 3年生	—	申込不要		6月中旬	教学 Web お知らせ
12月4日(土)	NUC	神・文・社会・法・経済・商・理工・人間福祉・教育学部 2年生				12月下旬	

有料実施 主催：教務機構エクステンションプログラム

試験日	実施 キャンパス	対象者	受験料	申込期間	申込方法	結果返却予定日	詳細確認方法
7月3日(土)	NUC	全学部・研究科在学生	4,500円 (税込)	3月1日(月)～6月25日(金)	証明書発行機で証紙を購入し、必要事項を記入の上、教務機構事務室に提出。	7月中旬	エクステンションプログラムパンフレット
12月18日(土)	NUC			7月1日(木)～12月10日(金)		12月下旬	

TOEFL ITP® テスト

有料実施 主催：関西学院大学

試験日	実施 キャンパス	対象者	受験料	申込期間	申込方法	結果返却予定日	詳細確認方法
4月17日(土)	NUC	全学部・研究科在学生	4,400円	3月1日(月)～4月9日(金)	大学生協書籍カウンター(NUC/KSC)に設置されている申込書に記入し、受験料と共に提出。	5月10日(月)	関西学院大学生活協同組合書籍カウンター
6月5日(土)				5月10日(月)～5月28日(金)		6月25日(金)	
8月4日(水)				7月12日(月)～7月28日(水)		8月25日(水)	
9月4日(土)				7月19日(月)～8月27日(金)		9月24日(金)	
10月30日(土)				10月11日(月)～10月22日(金)		11月18日(木)	
12月11日(土)				10月25日(月)～12月3日(金)		2022年1月7日(金)	
2022年3月28日(月)				2022年1月13日(木)～3月21日(月)		2022年4月14日(木)	

無料実施 主催：関西学院大学

試験日	実施 キャンパス	対象者	受験料	申込期間	申込方法	結果返却予定日	詳細確認方法
6月5日(土)	NUC	学部正規学生 350名(抽選)	—	4月12日(月)～5月2日(日)	言語教育研究センター HP に掲載の申込フォームから必要事項を入力。	6月25日(金)	言語教育研究センター HP
8月4日(水)		学部正規学生 350名(抽選)		6月14日(月)～7月4日(日)		8月25日(水)	
10月30日(土)		学部正規学生 300名(抽選)		9月13日(月)～10月3日(日)		11月18日(木)	

※ 2020 年度までに実施された無料 TOEFL ITP® テストを無断欠席された方は申し込みできません。

総合政策学部 TOEFL® 無料実施 主催：総合政策学部

試験日	実施 キャンパス	対象者	受験料	申込期間	申込方法	結果返却予定日	詳細確認方法
3月16日(火)～	KSC	総合政策学部新入生	—	申込不要	総合政策学部事務室で申込	—	総合政策学部
12月11日(土) 予定		EC2・EC4・EC6 の履修者		申込不要		2022 年 1 月授業内	
2022 年 1 月末 予定		12 月 11 日(土) の追試希望者				2 月中旬	

※総合政策学部生以外は受験できません。

NUC：西宮上ヶ原キャンパス、KSC：神戸三田キャンパス、OUC：大阪梅田キャンパス

K.G.ポートフォリオ

関西学院大学では、大学生活における経験を蓄積して役立てられるポートフォリオの活用を推進しています。

大学では、授業を通じた専門知識の修得、語学力の向上や留学、クラブ活動・アルバイト・ボランティア・インターンシップといった課外活動など、様々な経験を積む機会があります。これらの経験は、日々の学びの向上だけではなく、就職や大学院進学などのキャリアを考える時に貴重な財産となります。

ポートフォリオを使ってこまめに学生生活の振り返りを行うことで、以前よりもレベルアップしている自分に気づき、なりたい自分に近づいていることを実感できるはずです。自分の強みを見つけない時や将来の進路に迷った時、ポートフォリオは強力なサポートツールになります。皆さんのよりよい未来のために、是非、ポートフォリオを役立ててください。

PCからのアクセス方法



情報システムWebサービスの「LUNA」よりアクセス

ダウンロード方法



※[Android][Google Play]は、Google Inc.の商標または登録商標です。
 ※「Apple」は、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
 ※「App Store」はApple Inc.のサービスマークです。
 ※「iOS」は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。
 ※QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

語学学習や海外研修の記録を通じて外国語能力を伸ばし、自分の世界を広げよう 言語教育研究センターでの活用事例



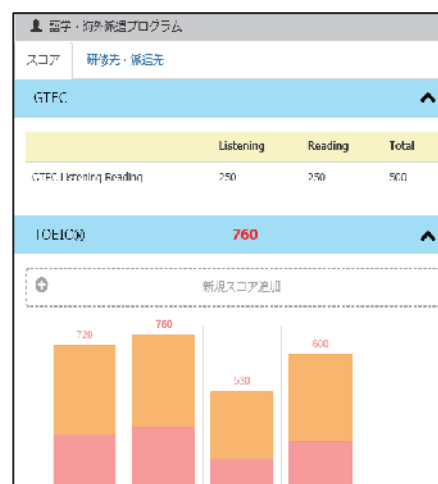
入学時に受験するGTEC、入学後に受験するTOEIC® L&R IPテスト、TOEFL ITP® TESTのスコアを時系列に表示します。学外で公式テストを受験した場合も、自分でポートフォリオにスコアを入力でき、学習の進捗状況が一目で分かります。



海外研修参加後のアンケートをポートフォリオ上で回答し、研修時の気づきや経験を蓄積することができます。



アンケートに回答し、自分の感じたことを記録する



本システムは、スマートフォンの利用を推奨するものですが、学内外のPCでも多くの機能は利用することができます。

推奨環境等はLUNA活用ハンドブックをご参照ください。

掲載している機能やデータ連携は2021年4月現在のものです。

機能やデータ連携を予告なく追加・停止する可能性があります。

みなさんの取り組みを支援するため、権限が与えられた教職員が厳格な管理の下、メニューの各機能の情報を参照することがあります。

アプリの利用料は無料ですが、ダウンロードや利用時にかかるパケット通信料は利用者負担になります。

創立以来、「世界市民」の育成をめざして国際教育を積極的に推進してきた関西学院大学。

その豊富な実績と構想が認められ、平成26年度文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択されました。

これを機に、多様性を学ぶ「国際性豊かな学術交流の港」を構築し「ダブルチャレンジ制度」を創設するなど、

国や地域の垣根にとらわれず世界を駆け巡り、競い合い、支え合って協働できる「世界市民」を育てます。

挑め、新たな世界に！ 全学生が挑む「ダブルチャレンジ」

全学生が所属学部の主専攻の学び（ホームチャレンジ）に加え、異なるものとの出会いの場「アウェイチャレンジ」に取り組み、グローバル人材に強く求められる「主体性」「タフネス」「多様性への理解」を深めます。アウェイチャレンジは以下の3つのプログラムから構成されています。是非、在学中の4年間を通じて多様な『チャレンジ』に取り組み、自らの可能性を拓いてください。

アウェイチャレンジ

国際ナショナルプログラム

「国を越え、世界を知る」

海外の大学・フィールドでの挑戦や海外からの学生との共修を通して、グローバルな視野を身につけます。

例：交換留学、中期留学、外国語研修、インドネシア交流セミナー、国連セミナー、海外インターンシップ、海外フィールドワーク など



ホームチャレンジ



（各学部・専攻での学び）

アウェイチャレンジ

副専攻プログラム

「学部を出て、他分野を学ぶ」



主専攻とは異なる学問分野を体系的に学び、複眼的な視野を身につけます。

例：複数分野専攻制プログラム、
複数分野専攻制特別プログラム＜国連・外交プログラム＞

アウェイチャレンジ

ハンズオン・ラーニング・プログラム（実践型学習）

「キャンパスを出て、社会に学ぶ」



地域や企業、行政と連携した実践的なプログラムで思考力・行動力・学習姿勢を身につけます。

例：ハンズオン・アドバンスト、
ハンズオン・インターンシップ、
社会探究実習、社会探究実践演習、
キャリアゼミ、PBL特別演習 など

詳しくは『「ダブルチャレンジ」プログラムガイド2021』で確認してください。

新入生（1年生）には入学式で、2年生以上の学生には教務機構事務部や各学部・センター事務室で配布しています。



KSC：神戸三田キャンパス



NUC：西宮上ヶ原キャンパス



関西学院大学 教務機構 言語教育研究センター

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155
TEL：0798-54-6180 FAX：0798-54-6190
ホームページ：https://www.kwansei.ac.jp/c_language/

